社会福祉法人慈光会

法人内研修の紹介

1.　夏期研修会

１ 年に １ 度、法人の保育が出発した地である大行寺に全職員が集まって行います。子どもの心理や発達、現代の家族を取り巻く問題についてなど、保育に関わる分野の講師をお呼びして専門的なお話を伺ったり、園を越えたグループを作って職員同士で話し合いを行っています。それぞれの保育にまつわる悩み・課題を共有することで、新しい視点や意見にも触れられ、保育の質を高める良い機会のひとつとなっています。

〔過去４年で基調講演にお呼びした先生〕
〇令和２年度　基調講演　新型コロナウイルス感染症流行に伴い中止

〇令和元年度　基調講演　「保育所の保護者支援について」
　大正大学心理社会学部臨床心理学科
　玉井邦夫教授

〇平成 30 年度　基調講演　「乳幼児期こそ豊かな体験を」
　文京学院大学人間学部児童発達学科
　森下葉子准教授

〇平成 29 年度　基調講演　「配慮が必要な子どもに対する人権意識」
　静岡英和学院大学人間学部地域福祉学科
　小沼肇教授

1
夏期研修会

2.公開保育

保育士として働いていると、なかなか他の園の保育を見る機会がありませんが、法人に６つの園がある強みを活かし、日常の保育を法人の職員に公開する日を作っています。公開する側の先生からは「子どもとの関わり方を褒められ、自信になった/広い視野での意見が聞け、保育の参考になった/よりよい保育の環境づくりに繋がった」、見学側の先生からは「ここの園でしていた遊びの工夫を、うちの園でもやってみたい」などの意見が聞かれ、新たな視点や課題に気付ける、園の枠を越えた大切な学びの場となっています。

